

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	湘南のひかり輝く海・まちを未来へつなぐ下水道（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	藤沢市												
計画の目標	藤沢市公共下水道事業は5つの目標に向け、事業を推進いたします。 安全・安心なまちづくりへの貢献 湘南の自然環境との共生 地域から取り組む地球環境保全 快適で潤いあるまちづくりへの貢献 自然・ひと・まちが共生する都市を次世代につなぐ												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	11,678	A	11,625	B	0	C	53	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.45	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	既存ストックの有効利用を考慮した浸水シミュレーションを活用し、浸水状況の把握や対策の評価を行う排水区の評価実施率を0%(H28)から100%(R2)に増加させる。 浸水状況の把握や対策の評価を行う排水区の評価実施率 浸水状況の把握や対策の評価を行った排水区(箇所) / 藤沢市内全排水区(箇所)	0%	50%	100%
2	合流式下水道改善率を35.2%(H30)から100%(R5)に増加させる。 合流式下水道改善率 対策済み汚濁負荷量(t/年) / 必要対策汚濁負荷量(t/年)	37%	35%	35%
3	管渠の改築・更新達成率を0%(H28)から6.3%(R2)に増加させる。 管渠の改築・更新達成率 改築・更新実施延長(m) / 改築・更新が必要な管渠延長(m)	0%	2%	6%
4	処理場・ポンプ場施設の改築・更新達成率を1.8%(H28)から26.4%(R2)に増加させる。 処理場・ポンプ場施設の改築・更新達成率 改築・更新実施施設数(箇所) / 改築・更新が必要な施設数(箇所)	2%	21%	26%
5	重要な管渠の耐震化率を14.9%(H30)から15.1%(R2)に増加させる。 重要な管渠の耐震化率 耐震化管渠延長(m) / 地震対策を行う重要な管渠延長(m)	21%	15%	15%
6	処理場・ポンプ場施設の耐震化率を20.8%(H30)から22.1%(R2)に増加させる。 処理場・ポンプ場施設の耐震化率 耐震化施設数(箇所) / 耐震化を有すべき施設数(箇所)	14%	21%	22%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
番号2における中間目標値以降は、藤沢市南部処理区合流式下水道緊急改善計画の変更（H29）に伴う「必要対策汚濁負荷量」を反映させている。また中間目標値(H30)から最終目標値(R2)において増加していないが、令和5年度を完了目標とする事業が完了して初めて100%となる。番号5, 6における中間目標値以降は、藤沢市下水道総合地震対策計画（第二期）の策定（H29）に伴う「地震対策を行う重要な管渠延長」及び「耐震化を有すべき施設数」の拡充を反映させている。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(合流)	新設	辻堂南部地区管渠整備	4100 x 1500 L=0.5km	藤沢市						1,597		策定済	
		合流改善																		
	A07-002	下水道	一般	藤沢市	直接	-	終末処理場	新設	辻堂浄化センター汚濁負荷量削減対策施設整備	辻堂浄化センター	藤沢市							1,130		策定済
		合流改善																		
	A07-003	下水道	一般	藤沢市	直接	-	終末処理場	改築	辻堂浄化センター地震対策	辻堂浄化センターの地震対策	藤沢市							2,377		策定済
		地震対策																		
	A07-004	下水道	一般	藤沢市	直接	-	終末処理場	改築	辻堂浄化センター改築更新	辻堂浄化センターの改築更新	藤沢市							1,093		策定済
		長寿命化																		
	A07-005	下水道	一般	藤沢市	直接	-	ポンプ場	改築	南部処理区ポンプ場地震対策	南部処理区ポンプ場の地震対策	藤沢市							726		策定済
		総合地震																		
	A07-006	下水道	一般	藤沢市	直接	-	ポンプ場	改築	南部処理区ポンプ場改築更新	南部処理区ポンプ場の改築更新	藤沢市							1,033		策定済
		長寿命化																		

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(合流)	改築	南部処理区管渠地震対策	管渠の耐震化,マンホール浮上防止,吐口ゲート遠方操作化	藤沢市						693		策定済	
		総合地震																		
	A07-008	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(合流)	改築	南部処理区管渠改築更新	長寿命化調査、計画策定、管渠の改築更新L=3.8km	藤沢市						937		策定済	
		長寿命化																		
	A07-009	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(合流)	新設	南部処理区浸水対策	南部処理区浸水対策	藤沢市						200		-	
	A07-010	下水道	一般	藤沢市	直接	-	終末処理場	改築	大清水浄化センター地震対策	大清水浄化センターの地震対策	藤沢市						344		策定済	
		総合地震																		
	A07-011	下水道	一般	藤沢市	直接	-	終末処理場	改築	大清水浄化センター改築更新	大清水浄化センターの改築更新	藤沢市						277		策定済	
		長寿命化																		
	A07-012	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(污水)	改築	東部処理区管渠改築更新	長寿命化調査、計画策定、管渠の改築更新 L=0.6km	藤沢市						233		-	
		長寿命化																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-013	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(雨水)	改築	浸水シミュレーション	浸水シミュレーション	藤沢市						32	-	
	A07-014	下水道	一般	藤沢市	直接	-	-	新設	ストックマネジメント計画	ストックマネジメント計画	藤沢市						218	-	
	A07-015	下水道	一般	藤沢市	直接	-	管渠(污水)	改築	東部処理区管渠地震対策	管渠の耐震化、マンホール浮上防止	藤沢市						260	策定済	
		総合地震																	
	A07-016	下水道	一般	藤沢市	直接	-	ポンプ場	改築	東部処理区ポンプ場地震対策	東部処理区ポンプ場の地震対策	藤沢市						46	策定済	
		総合地震																	
	A07-017	下水道	一般	藤沢市	直接	-	-	改築	南部処理区管渠ストックマネジメント	管渠の調査・診断、管渠の改築更新	藤沢市						90	策定済	
		ストックマネジメント																	
	A07-018	下水道	一般	藤沢市	直接	-	終末処理場	改築	処理場ストックマネジメント	処理場の改築更新	藤沢市						305	策定済	
		ストックマネジメント																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-019	下水道	一般	藤沢市	直接	-	-	改築	東部処理区管渠ストック マネジメント	管渠の改築更新	藤沢市						34		策定済
ストックマネジメント																			
											小計						11,625		
											合計						11,625		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和4年3月3日に社会資本総合整備計画事後評価委員会を開催し、学識経験者を含む第三者から事後評価についての意見を聴取した。	令和4年3月
	公表の方法 ホームページにて、事後評価書及び説明版資料を公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・合流式下水道改善率の向上に係る事業を実施したことにより、この事業の完了に伴いその効果を発現する。 ・管渠の改築・更新により、老朽化に起因する道路陥没等の未然に防ぐことにつながった。 ・処理場・ポンプ場施設の改築・更新により、事故発生や機能停止の未然の防止につながった。 ・重要な管渠の耐震化により、震災時における下水道の流下能力の確保、向上が図られた。 ・処理場・ポンプ場施設の耐震化により、震災時における下水道の処理機能の確保、向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場・ポンプ場施設の改築・更新により、機能向上が図られ、運用の負担の軽減やエネルギー効率の向上に寄与した。

特記事項（今後の方針等）

財政状況の厳しさから予算の確保が難しいながらも、まずは令和5年度までの時限が定められている合流式下水道改善事業を主体に行う。また、中期経営計画（案）で重点施策と位置づけている・下水道施設の計画的な地震・津波対策の推進（ハード対策）・ストックマネジメント実施方針の着実な推進・効率的な浸水対策施設整備の推進を行っていく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	浸水状況の把握や対策の評価を行う排水区の評価実施率		
	最終目標値	100%	適切に事業執行したことから、最終目標値に達した。
	最終実績値	100%	
合流式下水道改善率			
2	最終目標値	35%	目標値の達成は令和5年度事業完了時のため、数値はそのまま。
	最終実績値	35%	
	管渠の改築・更新達成率		
3	最終目標値	6%	経過年数等を考慮し、長寿命化計画における対象区域の全施設に対して対策を行うこととしていたが、市域全体でのストックマネジメント計画策定により、緊急性の高い施設に対して対策を行うこととしたため。
	最終実績値	3%	
	処理場・ポンプ場施設の改築・更新達成率		
4	最終目標値	26%	計画に含まれる1か所について、計画の見直しを行ったため。
	最終実績値	25%	
	重要な管渠の耐震化率		
5	最終目標値	15%	適切に事業を執行したことに加え、令和2年度の国補正第3号予算に伴う事業の前倒し実施をしたため、目標を上回った。
	最終実績値	15%	

